

函館 いじめ見逃しゼロへ

～いじめ^{みのが}見逃し^{がっこう}ゼロの^{ちいき}学校・^{めざ}地域を目指して～

いじめについては未然防止の観点に立ち、まずは学校が、日頃から個に応じたわかりやすい授業を行うとともに、深い児童生徒理解に立ち、子どもが楽しく学びつつ、いきいきとした学校生活を送れるようにしていくことが重要です。

また、未然防止や早期対応に関する取組については、学校と保護者が緊密に連携し、推進していくことが大切です。

特に、大人が気付きにくい「ネット上のいじめ」については、保護者や教師自身が、ネット機器やアプリの各機能に関する基本的な知識を習得し、理解を深めていくことが必要です。

日頃から子どもたちの利用実態について関心をもち、その把握に努め、いじめ見逃しゼロの学校・地域を目指しましょう。

保護者のみなさまへ

子どもが、友達の間で、何かしらの行為を受け、心身の苦痛を感じていれば、学校はいじめと認知します。


- 子どもの感じる被害性に着目して、いじめかどうか判断します。
- 好意から行った行為が意図せず相手側の子どもに心身の苦痛を感じさせてしまったような場合、学校は「いじめ」という言葉を使わずに、子どもたちに指導することもあります。



☑ 子どもの変化に気付いたら


「いじめかな？」と心配になったら、保護者から子どもに声をかけてみます。

- 「よく話を聴く」ことがポイントです。最後まで丁寧に聴いてみましょう。
- 子どもにとっても、思いを言葉にしてみると、自分の心の中が整理されて、心が軽くなる場合があります。
- 声のかけ方（例）



「どうしたの？」
「とても心配しているよ。」
「元気がないようだけど…。」
「力になれることはある？」

➡



「よく話してくれたね。」
「大変だったね。」
「つらかったね。」

☑ 家庭で悩んだり、困ったりしたら

保護者だけで悩まず、学校に相談しましょう。

- 学校での子どもの様子を知ることにより、家庭では気が付かなかったことや対応方法に気が付くことがあります。
- 学校には、管理職や学級担任以外にも、学年主任や養護教諭、子どもの心のケアをするスクールカウンセラーがいますので、保護者が相談しやすい教職員等にお話してください。

いじめ等の問題について考える集会（小・中学校集会）

令和4年度は、「函館いじめ見逃しゼロへ～いじめ見逃しゼロの学校・地域を目指して～」をテーマに、小学校5校、中学校5校がそれぞれWEB会議システムを活用し、各学校の取組の紹介と、「いじめ見逃しゼロを目指して、私たちができること」について協議を行い、いじめの未然防止、早期発見・早期対応等の大切さについて確認しました。

□ 小学校集会

- 開催日：令和4年11月1日（火）
- 参加者：（司会・発表）函館市立駒場小学校、（発表）深堀小学校、日吉が丘小学校、湯川小学校、南茅部小学校の児童、保護者、学校関係者、関係機関等
参加者計37名



参加児童の声【アンケートからの抜粋】

- 参加した5校の小学校の取組を知ることができ、とても意義のある交流ができたと思います。次は、自分の学校でも各校の取組を参考に、「いじめ見逃しゼロ」を目指して取組んでいきたいと思います。
- 「いじめゼロ」ということは難しいと思うけど、今回発表があった参加校の取組をそれぞれの学校で行うことで、1件でも多くのいじめを減らしていきたいと思います。



小学校集会
参加校の取組
【当日配付資料】



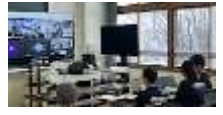
□ 中学校集会

- 開催日：令和4年12月20日（火）
- 参加者：（司会・発表）函館市立巴中学校、（発表）青柳中学校、港中学校、湯川中学校、恵山中学校の生徒、保護者、学校関係者、関係機関等
参加者計36名



参加生徒の声【アンケートからの抜粋】

- 自校では行っていない取組や、考えたことがない新しい取組を知ることができ、いじめ防止の取組は様々な方向から行うことができると感じました。他の学校と交流する機会はとも少ないので、今回は貴重な経験となりました。
- いじめの問題について考える動画を作成し、全校生徒が動画を見ることができる取組は、オンラインでの利点を活かした取組だと思いました。



中学校集会
参加校の取組
【当日配付資料】



児童・生徒のみなさんへ 学校の先生や家の人にお話しできないときは、一人で悩まず、以下に相談してください。

はこだて子どもホットライン(子どもの悩み相談電話)

- 相談日 毎週月曜日～金曜日（祝日をのぞく）
時間 8時45分～17時30分
- (57) 6644 (函館市こころの相談員相談電話)
 - (57) 3009 (")
 - (57) 8251 (函館市南北海道教育センター)

SNS等ネットでのトラブルに巻き込まれている場合には、学校と連携し、以下のネットパトロール連絡フォーム（QRコード）に相談したり、サイト管理者・プロバイダへ連絡をしたりするなど、速やかに対応することが大切です。



ネットパトロール連絡フォーム

<https://report.epatrol.info>



ほか 相談機関

- 子どもなんでも相談110番(子ども家庭総合支援拠点) (32) 3192
子ども専用電話 0800-800-0879
月(8時45分～19時00分) 火～金(8時45分～17時30分)
- チャイルドライン(18歳までの子ども専用) 0120(99) 777
毎日16時～21時
- 函館家庭生活カウンセラークラブ (84) 8742
月金(10時～15時 函館市女性センター内)
水(10時～12時 函館市女性センター内)
火木(18時30分～20時30分 函館市女性センター内)
木(13時～15時 亀田支所内) (45) 5581
火(10時～12時 湯川支所内) (57) 6161
- 函館地方法務局子どもの人権110番 0120-007-110
月～金(8時30分～17時15分)
- 法務少年支援センターはこだて (30) 7877
月～金(9時～17時) ※12時～13時および祝日をのぞく
- 法務省インターネット人権相談(24時間受付) <https://www.jinken.go.jp/>
- 文部科学省子供のSOS相談窓口(24時間受付) 0120-0-78310

令和4年度 函館市いじめ防止対策審議会委員

＜いじめ防止対策部会＞

- 田上直広 (函館市湯川中学校・校長)
- 漆畑英幸 (函館市立昭和小学校・主幹教諭)
- 干山毅 (函館市PTA連合会・顧問)
- 川合裕紀子 (函館人権擁護委員協議会・委員)
- 松浦まどか (函館市公募委員)
- 北原淳 (北海道函館児童相談所地域支援課・課長)

＜重大事態調査部会＞

- 鶴素直 (湊法律事務所・弁護士)
- 多田直人 (五稜郭メンタルクリニック・院長)
- 伊藤繁子 (函館家庭生活カウンセラークラブ・代表)
- 斉藤健夫 (函館市青少年輔導センター・育成輔導員)
- 秋山隆行 (函館市スクールソーシャルワーカー)
- 鈴木淳 (北海道教育大学函館校教職大学院・特任教授)
- 本田真大 (北海道教育大学函館校・准教授)
- 山村哲 (北海道社会福祉士会道南地区支部)